

## 1. 学級編制について

## (1) 国の基準(標準)

	小学校	中学校
同学年	40人	40人
複式学級	16人	8人
複式学級(1年生を含む場合)	8人	8人

## (2) 鳥取県の基準

	小学校	中学校
1年生	30人	33人
2年生	30人	40人
3年生	40人	40人
4~6年生	40人	—
複式学級	15人	8人
複式学級(1年生を含む場合)	設置しない	8人

## (3) 鳥取市の運用

県の基準を基本とし、複式学級が生じる場合は、市単独で教職員を加配し、複式学級の解消を行っている。

## 2. 学級数別学校数

(平成21年5月1日現在)

学級数		3	4~6	7~11	12~18	19以上	計
小学校	校数(標準)	0	22	8	15	0	45
	(割合)	0.0%	48.9%	17.8%	33.3%	0.0%	
	校数(実学級)	0	19	9	16	1	45
	(割合)	0.0%	42.2%	20.0%	35.6%	2.2%	
中学校	校数(標準)	4	5	4	5	0	18
	(割合)	22.2%	27.8%	22.2%	27.8%	0.0%	
	校数(実学級)	3	5	4	4	2	18
	(割合)	16.7%	27.8%	22.2%	22.2%	11.1%	

### 3. 小学校の規模別学校数(実学級数)

(平成21年5月1日現在:特別支援学級を含む)

学級数	6学級	7学級	8学級	9学級	10学級	11学級	12学級	13学級	14学級	15学級	16学級	17学級	18学級	19学級	20学級	23学級
学校数	4	10	6	1	1	3	1	2	4	4	1	2	1	2	2	1
	富桑 137	明徳 139	遷喬 135	国府東 114	米里 211	修立 185	青谷(北) 239	稲葉山 268	賀露 305	久松 313	湖山 361	面影 423	美保南 481	世紀 476	城北 516	美保 609
	神戸 38	美和 142	大正 125		日進 234	日進 234	浜村 255	津ノ井 270	醇風 354	醇風 354	末恒 414	若葉台 514	若葉台 514	若葉台 514	若葉台 514	若葉台 514
	明治 37	倉田 114	東郷 36		河原第一 218	河原第一 218		岩倉 361	湖山西 322	湖山西 322						
	湖南学園 101	西郷 72	福部 172					中ノ郷 346	宮ノ下 291	宮ノ下 291						
		散岐 84	用瀬 175													
		佐治 86	鹿野 188													
		宝木 106														
		瑞穂 48														
		逢坂 44														
		青谷(南) 86														

### 4. 小学校の規模別学校数(標準)

(平成21年5月1日現在:特別支援学級を含む)

学級数	4学級	5学級	6学級	7学級	8学級	9学級	10学級	12学級	13学級	14学級	15学級	16学級	17学級	19学級	20学級
学校数	2	1	4	10	3	3	3	2	2	6	3	1	2	2	1
	神戸 38	逢坂 44	富桑 137	明徳 139	遷喬 135	修立 185	米里 211	宮ノ下 291	稲葉山 268	久松 313	醇風 354	美保南 481	世紀 476	城北 516	美保 609
	明治 37		東郷 36	美和 142	大正 125	日進 234	河原第一 218	浜村 255	津ノ井 270	賀露 305	湖山 361	若葉台 514	若葉台 472	若葉台 514	若葉台 514
			湖南学園 101	倉田 114	鹿野 188	国府東 114	青谷(北) 239			面影 423	湖山西 322				
			瑞穂 48	福部 172						末恒 414					
				西郷 72						岩倉 361					
				散岐 84						中ノ郷 346					
				用瀬 175											
				佐治 86											
				宝木 106											
				青谷(南) 86											

5. 中学校の規模別学校数(実学級)

(平成21年5月1日現在:特別支援学級を含む)

学級数	3学級	4学級	5学級	7学級	8学級	9学級	11学級	12学級	13学級	14学級	16学級	17学級	20学級	21学級	23学級
学校数	3	1	1	1	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
	江山 98	用瀬 94	福部 110	国府 180	河原 212 鹿野 143	青谷 193	気高 265	高草 358	西 313	中ノ郷 363	北 453	東 460	桜ヶ丘 633	南 646	湖東 639
	湖南学園 52														
	佐治 57														

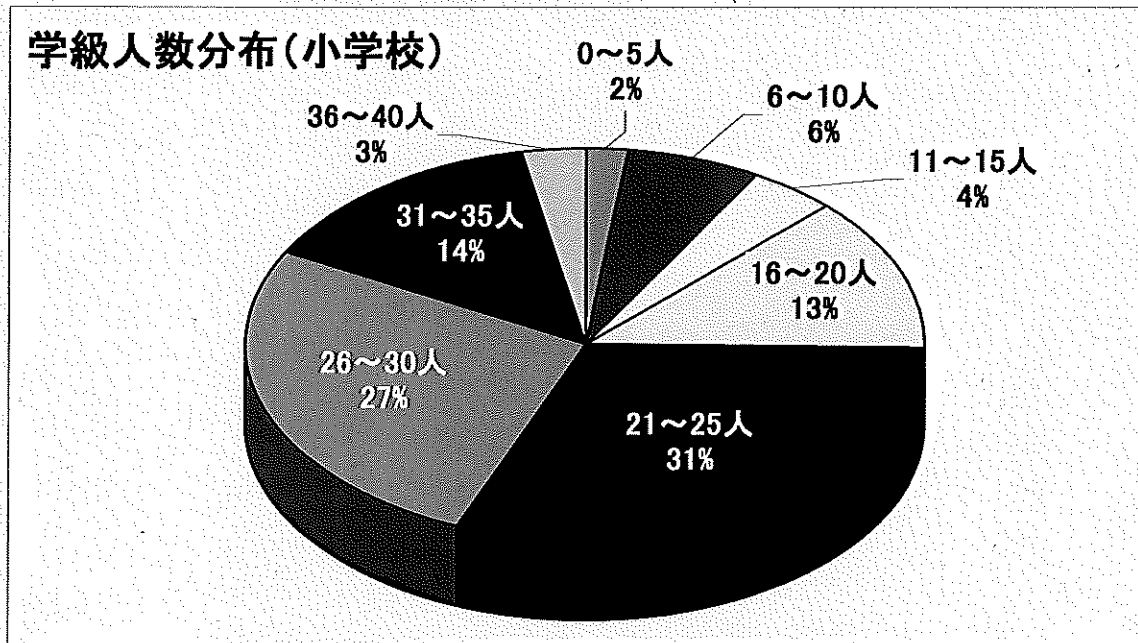
6. 中学校の規模別学校数(標準)

(平成21年5月1日現在:特別支援学級を含む)

学級数	3学級	4学級	5学級	7学級	8学級	10学級	11学級	13学級	15学級	16学級	19学級	20学級	22学級
学校数	4	0	1	1	3	1	2	1	1	1	1	1	1
	江山 98		福部 110	国府 180	河原 212 鹿野 143 青谷 193	気高 265	西 313 高草 358	中ノ郷 363	北 453	東 460	南 646	桜ヶ丘 633	湖東 639

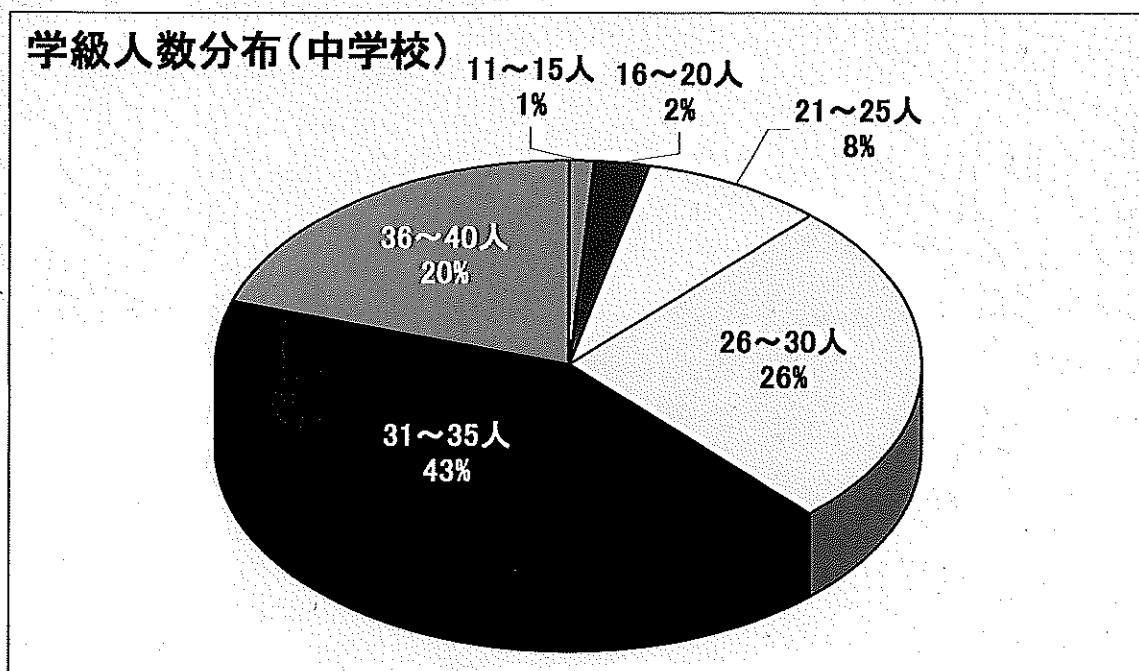
## 7. 小学校の児童数別学級数

人数	0~5人	6~10人	11~15人	16~20人	21~25人	26~30人	31~35人	36~40人	計
学級数	8	29	18	56	135	118	61	14	439



## 8. 中学校の生徒数別学級数

人数	11~15人	16~20人	21~25人	26~30人	31~35人	36~40人	計
学級数	2	4	14	43	70	33	166



## 9. 小学校の学級人数(普通学級)

H21.5.1現在

人数別	0~5	6~10	11~15	16~20	21~25	26~30	31~35	36~40	計
計	8	29	18	56	135	118	61	14	439
久松					8	3	1		12
醇風						9	2	1	12
遷喬				2	3	1			6
修立				5		1	2		8
日進				4	2		3		9
富桑				2	3	1			6
稲葉山					10			1	11
城北					4	12	2		18
美保					8	4	9		21
賀露					6	6			12
明德				2	1	2	1		6
倉田			1	3	1	1			6
面影					6	3	6		15
神戸	2	4							6
美和				2	3		1		6
大正			1	1	3	1			6
東郷	2	4							6
明治	2	4							6
世紀					3	12	2		17
湖山					5	6	1	1	13
湖南学園			3	2	1				6
末恒				1	8		4	2	15
米里					4	2	2		8
津ノ井				3	7	2			12
浜坂					6	9	2		17
岩倉					2	6	4		12
美保南					4	3	6	3	16
湖山西					5	5	2		12
中ノ郷					2	6	4		12
若葉台						14		3	17
宮ノ下				4	8	1			13
国府東		1		3	2				6
福部				2	2	2	1		7
河原第一				2	2	1	2	1	8
西郷		3	2	1					6
散岐		1	3	2					6
用瀬				2	2	2	1		7
佐治		1	4		1				6
宝木		1	1	1	3				6
瑞穂	1	4	1						6
浜村				3	7		1		11
逢坂	1	5							6
鹿野					1	3	1	1	6
青谷(北)				6	2		1	1	10
青谷(南)		1	2	3					6

## 10. 中学校の学級人数(普通学級)

H21.5.1現在

人数別	0~5	6~10	11~15	16~20	21~25	26~30	31~35	36~40	計
計	0	0	2	4	14	43	70	33	166
東						5		8	13
西						8	3		11
南							13	6	19
北						3	5	5	13
江山						2		1	3
高草						4		6	10
湖東						3	16		19
湖南学園			1	1	1				3
桜ヶ丘							12	6	18
中ノ郷						5	7		12
国府						4	2		6
福部					2	1	1		4
河原							5	1	6
用瀬				2		1	1		4
佐治			1	1	1				3
気高					3	3	3		9
鹿野					4	2			6
青谷					3	2	2		7



## 12. 平成21年度 教職員配置基準(鳥取県)

学校規模 (学級数)	小学校 配当基準	中学校 配当基準
1	2	
2	3	
3	5	8
4	6	9
5	7	10
6	8	11
7	9	13
8	11	14
9	12	16
10	13	18
11	14	19
12	15	20
13	16	21
14	17	22
15	18	24
16	20	25
17	21	27
18	22	29
19	23	31
20	24	33
21	25	34
22	26	36
23	27	37
24	28	38

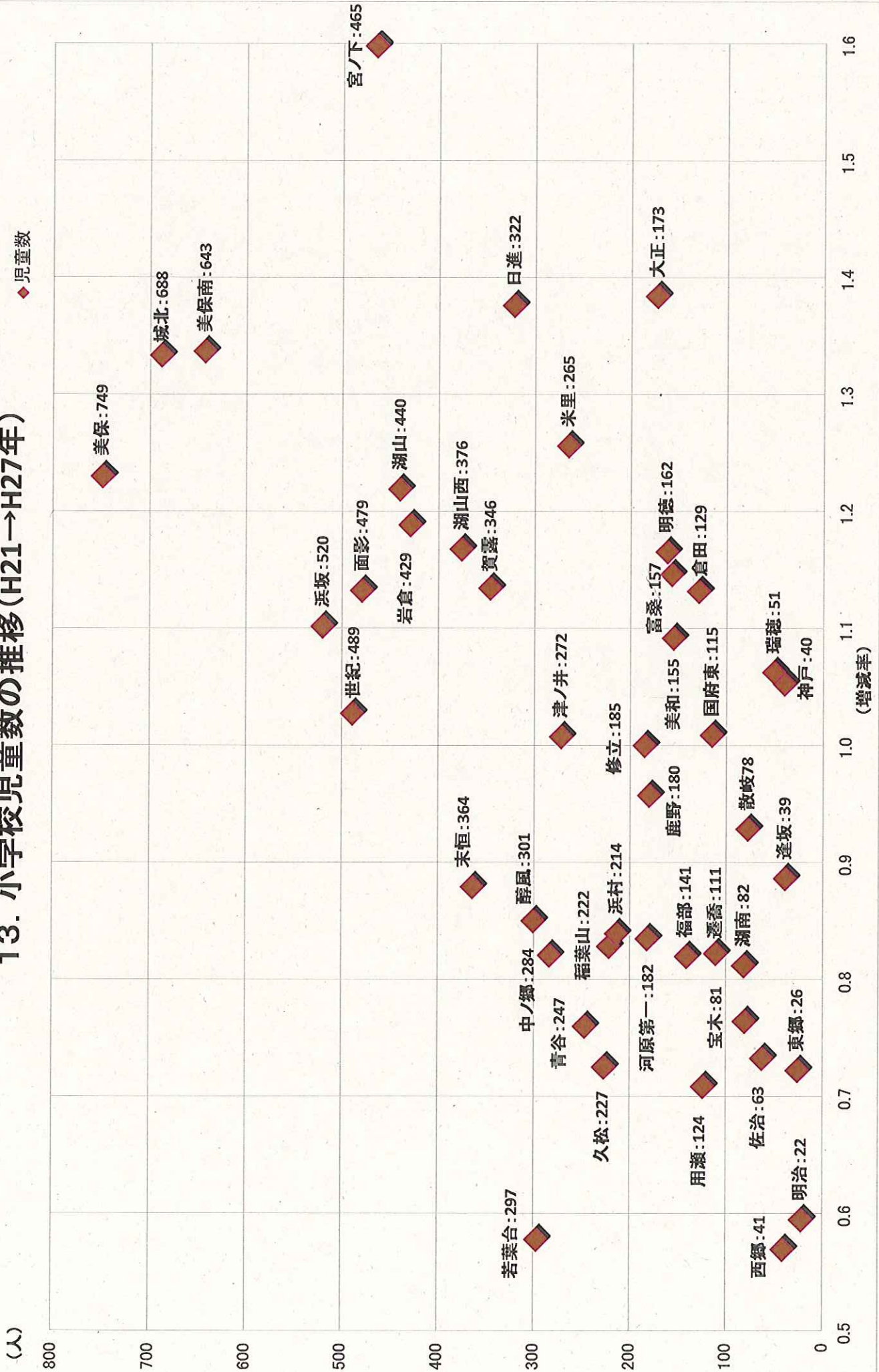
※配置数は、校長・教頭・教諭等の合計(非常勤講師を除く)

※養護教諭・事務職員等は別の基準による

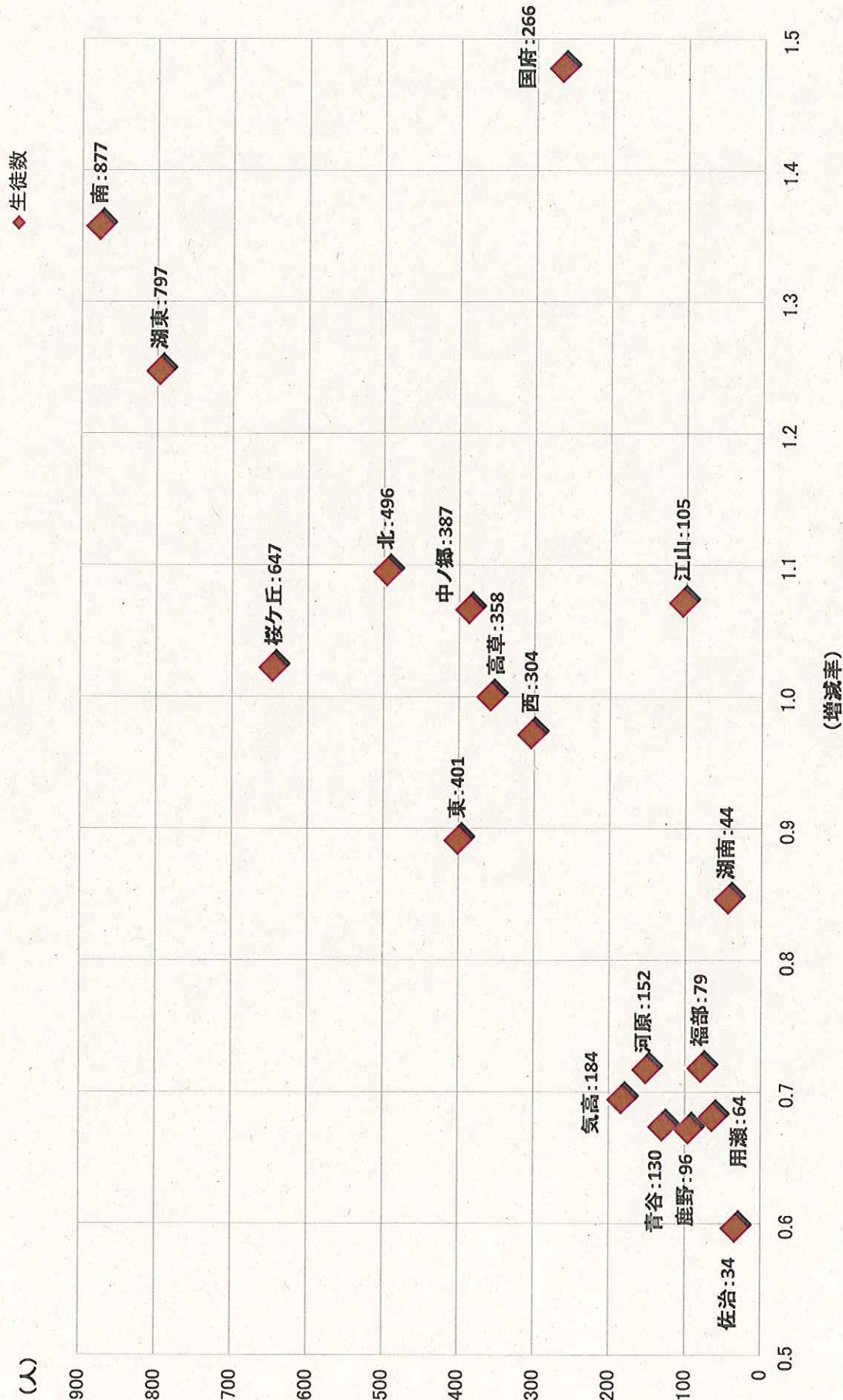


# 13. 小学校児童数の推移(H21→H27年)

◆ 児童数



# 14. 中学校生徒数の推移(H21→H31年)



# 小 中 学 校 の 通 学 区 域

(施行：平成21年4月1日)

小学校	通 学 区 域 ( 町 名 )	中学校
修立	中町の一部(1区)・御弓町・立川町1～2丁目・立川町5丁目の一部(2区)	東
稲葉山	吉方町1～2丁目・吉方温泉4丁目・南吉方3丁目 百谷・滝山・小西谷・卯垣1～3丁目・卯垣5丁目・立川町3～4丁目 立川町5丁目の一部(1区)・立川町6丁目の一部(立六西)	
岩倉	岩倉・卯垣・卯垣4丁目・立川町6丁目の一部(除く立六西)・立川町7丁目 東今在家の一部(東今在家団地)・大杵の一部(東扇町)・桜谷の一部(桜ヶ丘団地) 国府町新通り1～4丁目・国府町分上1～4丁目・国府町奥谷3丁目の一部	
醇風	西町4～5丁目・材木町・玄好町・片原4～5丁目・本町4～5丁目・二階町4丁目 茶町・川端4～5丁目・元魚町3～4丁目・田園町1～2丁目・相生町1～4丁目 薬師町・西品治の一部(県道田島片原線以北の一部)	西
富桑	新品治町・寿町・南町の一部(旧北本寺・南本寺) 田島の一部(2区)・西品治の一部(県道田島片原線以南)・行徳2丁目の一部 行徳3丁目の一部・安長の一部	
明德	瓦町・今町1～2丁目・南町の一部(旧梶川・瓦町)・行徳1丁目・行徳2丁目の一部 行徳3丁目の一部・幸町・東品治町・扇町の一部	
日進	栄町・弥生町・末広温泉町・永楽温泉町・吉方温泉1～3丁目・南吉方1～2丁目 吉方・寺町の一部(中区・上区)	南
美保	大覚寺・吉成の一部(大路川以北)・吉成1～3丁目・古市・富安・富安1～2丁目 興南町・天神町・扇町の一部	
倉田	円通寺・西円通寺・八坂・橋本・国安・蔵田・馬場 数津の一部(県道八坂鳥取停車場線以東)	
美保南	数津の一部(県道八坂鳥取停車場線以西)・叶・叶1丁目・宮長・的場・的場1～4丁目 吉成の一部(大路川以南)・吉成南町1～2丁目	
久松	上町・中町の一部(2区)・大榎町・庵丁人町・大工町頭・馬場町・江崎町・栗谷町 東町1～3丁目・西町1～3丁目・湯所町1～2丁目 丸山町の一部(県道伏野覚寺線以南)	北
遷喬	尚徳町・掛出町・元大工町・上魚町・片原1～3丁目・鍛冶町・若桜町 本町1～3丁目・桶屋町・職人町・二階町1～3丁目・新町・元魚町1～2丁目 戎町・川端1～3丁目・元町・寺町の一部(下区)	
城北	秋里・松並町1～3丁目・田園町3～4丁目・青葉町1～3丁目・安長の一部 商栄町・田島の一部(1区)・西品治の一部(県道田島片原線以北の一部) 丸山町の一部(県道伏野覚寺線以北) 千代水1丁目・千代水2丁目の一部・千代水3丁目の一部・南安長1丁目の一部 南安長2丁目の一部・南安長3丁目の一部・緑ヶ丘2丁目の一部・緑ヶ丘3丁目の一部	
神戸 美和	岩坪・上砂見・中砂見・下砂見 向国安・竹生・上味野・下味野・朝月・源太・赤子田・長谷・倭文・玉津・猪子・横枕	江山
大正 東郷 明治	古海・菖蒲・服部・野寺・南安長1丁目の一部・緑ヶ丘1丁目の一部 高路・有富・中村・篠坂・西今在家・北村・本高 河内・楨原・松上・細見・上原の一部(開拓)・尾崎の一部	高 草
世紀	上原の一部・尾崎の一部・上段・下段・大塚・野坂・宮谷・大柵・嶋・徳尾 徳吉・里仁・桂見・布勢・高住・良田・岩吉の一部(JR山陰本線以南) 五反田町・南安長2丁目の一部・南安長3丁目の一部・緑ヶ丘1丁目の一部 緑ヶ丘2丁目の一部・緑ヶ丘3丁目の一部	
賀露	賀露町・賀露町西1～4丁目・賀露町南1～6丁目・賀露町北1～4丁目 南隈・晩稲・港町・千代水2丁目の一部・千代水3丁目の一部・千代水4丁目の一部 湖山町東3丁目の一部・湖山町北6丁目の一部	湖 東
湖山	湖山町北1丁目・湖山町北6丁目の一部・湖山町東1～2丁目・湖山町東3丁目の一部 湖山町東4～5丁目・湖山町南1～4丁目・足山・岩吉の一部(JR山陰本線以北) 千代水2丁目の一部・千代水4丁目の一部	
末恒 湖山西	小沢見・白兔・内海中・伏野・三津・美萩野1～5丁目 湖山町北2～5丁目・湖山町西1～4丁目・湖山町南5丁目	
湖南学園	矢橋・双六原・洞谷・瀬田蔵・妙徳寺・吉岡温泉町・三山口・長柄・六反田・大畑 松原・金沢・福井・御熊	湖南学園
面影	東今在家の一部・大杵の一部(東扇町を除く全部)・新・雲山の一部(JR因美線以東) 桜谷の一部・正蓮寺・面影1～2丁目	桜ヶ丘
米里	越路・久末・古郡家・美和・東大路・中大路・西大路・雲山の一部(JR因美線以西)	
津ノ井 若葉台	祢宜谷・香取・紙子谷・広岡・船木・海蔵寺・桂木・生山・津ノ井・杉崎・南栄町 若葉台南1～7丁目・若葉台北2～4丁目・若葉台北6丁目	
浜坂 中ノ郷	浜坂・浜坂1～8丁目・浜坂東1丁目・江津・覚寺の一部(県道伏野覚寺線・湯山鳥取線以西) 山城町・覚寺の一部(県道伏野覚寺線・湯山鳥取線以東)・円護寺・北園1～2丁目	

# 小 中 学 校 の 通 学 区 域

(施行：平成21年4月1日)

小学校	通 学 区 域 ( 町 名 )	中学校
宮ノ下	国府町広西・国府町庁・国府町中郷・国府町国分寺・国府町法花寺・国府町三代寺 国府町宮下・国府町奥谷1～2丁目・国府町奥谷3丁目の一部・国府町稲葉丘1～3丁目 国府町新町1～2丁目・国府町美敷の一部・国府町町屋の一部	国 府
国府東	国府町雨滝・国府町木原・国府町下木原・国府町石井谷・国府町大石 国府町栃本・国府町菅野・国府町楠城・国府町拾石・国府町上地・国府町上荒舟 国府町荒舟・国府町神護・国府町殿・国府町山崎・国府町中河原・国府町松尾 国府町吉野・国府町新井・国府町山根・国府町神垣・国府町清水・国府町岡益 国府町谷・国府町玉鉾・国府町糸谷・国府町高岡・国府町麻生 国府町美敷の一部・国府町町屋の一部	
福部	福部町左近・福部町久志羅・福部町中・福部町蔵見・福部町南田 福部町栗谷・福部町八重原・福部町箭溪・福部町高江・福部町湯山 福部町海士・福部町細川・福部町岩戸	福 部
河原第一	河原町河原・河原町渡一木・河原町谷一木・河原町長瀬・河原町袋河原 河原町布袋・河原町稲常・河原町鮎ヶ丘・河原町山手 河原町郷原・河原町三谷・河原町釜口・河原町高福・河原町徳吉 河原町今在家・河原町片山・河原町天神原・河原町曳田の一部	河 原
西郷	河原町中井・河原町本鹿・河原町小河内・河原町神馬・河原町牛戸 河原町湯谷・河原町小畑・河原町弓河内・河原町北村	
散岐	河原町曳田の一部・河原町和奈見・河原町八日市・河原町佐貫・河原町水根 河原町山上・河原町小倉	
用瀬	用瀬町金屋・用瀬町樟原・用瀬町川中・用瀬町宮原・用瀬町安蔵 用瀬町古用瀬・用瀬町家奥・用瀬町屋住・用瀬町江波・用瀬町用瀬 用瀬町別府・用瀬町鷹狩・用瀬町美成・用瀬町赤波	用 瀬
佐治	佐治町小原・佐治町葛谷・佐治町刈地・佐治町津無・佐治町古市 佐治町大井・佐治町森坪・佐治町加瀬木・佐治町高山・佐治町津野 佐治町福園・佐治町加茂・佐治町畑・佐治町つく谷・佐治町河本 佐治町余戸・佐治町尾際・佐治町中・佐治町栃原	佐 治
宝木	気高町酒津・気高町上光・気高町下光元・気高町常松・気高町富吉 気高町宝木・気高町奥沢見	気 高
瑞穂	気高町宿・気高町土居・気高町重高・気高町二本木・気高町下坂本・気高町日光	
浜村	気高町浜村・気高町勝見・気高町新町1～3丁目・気高町北浜1～3丁目 気高町八幡・気高町下原・気高町八束水	
逢坂	気高町殿・気高町飯里・気高町下石・気高町上原・気高町山宮・気高町睦逢 気高町会下・気高町郡家・気高町高江	
鹿野	鹿野町末用・鹿野町閑野・鹿野町広木・鹿野町水谷・鹿野町鹿野・鹿野町今市 鹿野町寺内・鹿野町官方・鹿野町中園・鹿野町岡木・鹿野町乙亥正・鹿野町小別所 鹿野町鷲峯・鹿野町河内	鹿 野
青谷	(北校舎) 青谷町青谷・青谷町井手・青谷町長和瀬・青谷町善田の一部(青谷こども学園) 青谷町鳴瀬・青谷町北河原・青谷町山田・青谷町亀尻・青谷町吉川・青谷町露谷 青谷町絹見・青谷町栄町・青谷町桑原・青谷町楠根・青谷町紙屋・青谷町澄水 青谷町田原谷・青谷町八葉寺 (南校舎) 青谷町小畑・青谷町河原・青谷町山根・青谷町早牛・青谷町大坪・青谷町蔵内 青谷町奥崎・青谷町養郷・青谷町善田の一部(青谷こども学園を除く全部)	青 谷

## 学校規模によるメリット・デメリット(例)

	小規模化		大規模化	
	メリット	デメリット	メリット	デメリット
【学習面】	○児童・生徒の一人ひとりに目がとどきやすく、きめ細かな指導が行いやすい。	●集団の中で、多様な考え方に触れる機会や学びあいの機会、切磋琢磨する機会が少なくなりやすい。  ●1学年1学級の場合、ともに努力してよりよい集団を目指す、学級間の相互啓発がなされにくい。	○集団の中で、多様な考え方に触れ、認め合い、協力し合い、切磋琢磨することを通じて、一人ひとりの資質や能力をさらに伸ばしやすい。	●全教職員による各児童・生徒一人ひとりの把握が難しくなりやすい。
	○学校行事や部活動等において、児童・生徒一人ひとりの個別の活動機会を設定しやすい。	●運動会などの学校行事や音楽活動等の集団教育活動に制約が生じやすい。  ●中学校の各教科の免許を持つ教員を配置しにくい。 ●児童・生徒数、教職員数が少ないため、グループ学習や習熟度別学習、小学校の専科教員による指導など、多様な学習・指導形態を取りにくい。	○運動会などの学校行事や音楽活動等の集団教育活動に活気が生じやすい。  ○中学校の各教科の免許を持つ教員を配置しやすい。 ○児童・生徒数、教員数がある程度多いため、グループ学習や習熟度別学習、小学校の専科教員による指導など、多様な学習・指導形態を取りやすい。	●学校行事や部活動等において、児童・生徒一人ひとりの個別の活動機会を設定しにくい。
		●部活動等の設置が限定され、選択の幅が狭まりやすい。	○様々な種類の部活動等の設置が可能となり、選択の幅が広がりやすい。	
【生活面】	○児童・生徒相互の人間関係が深まりやすい。  ○異学年間の縦の交流が生まれやすい。	●クラス替えが困難なことなどから、人間関係や相互の評価等が固定化ししやすい。  ●集団内の男女比に極端な偏りが生じやすくなる可能性がある。  ●切磋琢磨する機会等が少なくなりやすい。	○クラス替えがしやすいことなどから、豊かな人間関係の構築や多様な集団の形成が図られやすい。  ○切磋琢磨すること等を通じて、社会性や協調性、たくましさ等を育みやすい。	●学年内・異学年間の交流が不十分になりやすい。
	○児童・生徒の一人ひとりに目がとどきやすく、きめ細かな指導が行いやすい。	●組織的な体制が組みにくく、指導方法等に制約が生じやすい。	○学校全体での組織的な指導体制を組みやすい。	●全教職員による各児童・生徒一人ひとりの把握が難しくなりやすい。
	【学校運営面・財政面】	○全教職員間の意思疎通が図りやすく、相互の連携が密になりやすい。  ○学校が一体となって活動しやすい。	●教職員数が少ないため、経験、教科、特性などの面でバランスのとれた配置を行いくい。 ●学年別や教科別の教職員同士で、学習指導や生徒指導等についての相談・研究・協力・切磋琢磨等が行いにくい。  ●一人に複数の校務分掌が集中しやすい。 ●教員の出張、研修等の調整が難しくなりやすい。	○教員数がある程度多いため、経験、教科、特性などの面でバランスのとれた教職員配置を行いやすい。  ○学年別や教科別の教職員同士で、学習指導や生徒指導等についての相談・研究・協力・切磋琢磨等が行いやすい。  ○校務分掌を組織的に行いやすい。  ○出張、研修等に参加しやすい。
	○施設・設備の利用時間等の調整が行いやすい。	●子ども一人あたりにかかる経費が大きくなりやすい。	○子ども一人あたりにかかる経費が小さくなりやすい。	●特別教室や体育館等の施設・設備の利用の面から、学校活動に一定の制約が生じる場合がある。
【その他】	○保護者や地域社会との連携が図りやすい。	●PTA活動等における保護者一人当たりの負担が大きくなりやすい。	○PTA活動等において、役割分担により、保護者の負担を分散しやすい。	●保護者や地域社会との連携が難しくなりやすい。

※中央教育審議会初等中等教育分科会「小・中学校の設置・運営の在り方に関する作業部会」の資料より引用

# 小・中学校の適正配置に関する主な意見等の整理(ポイント)

## 検討の背景と意義

- 少子化に伴う学校の小規模化、交通環境の整備、施設の老朽化等、社会状況が変化  
→ 子どもが「生きる力」をはぐくむことができる学校教育を保障する観点から、適正規模の検討が必要

## 基本的な考え方

- (学校規模の考え方)  
○ 一定の規模がある学校の利点  
→ 集団の中での切磋琢磨などを通じ、資質や能力を伸ばしやすい  
標準規模(12~18学級)を下回る学校には、**教育上の課題があり、標準規模の考え方は、現在でも概ね妥当ではないか**
- 地域ごとに事情が異なるので、地域の条件を踏まえた市町村ごとの検討が適当  
→ 検討すべき事項 ①標準規模を下回ることによる教育上の課題の克服方法 ②適正配置を進めることが困難である状況とその場合の対応
- (通学距離の考え方)  
○ 距離による考えただけでは実態に合わない面があるのではないか  
(例) 距離の観点からだけでなく、通学時間の観点から考慮

## 具体的な課題

- (小規模校の課題)
- 小学校
    - ① クラス替えができません人間関係が固定化しやすいこと
    - ② 習熟度別指導、教科担任制等多様な指導方法をとることが困難であること
    - ③ 教育活動の幅が狭くなること
    - ④ 授業の中で児童から多様な発言を引き出しにくいこと
    - ⑤ 男女の偏りが生じやすいこと
    - ⑥ 1学年1学級を維持できず、複式学級となる場合の教育上の課題は大きいこと
  - 中学校
    - ① 各教科に複数の教員を配置することが困難であること
    - ② 部活動教数が限られること
    - ③ クラス替えができません人間関係が固定化しやすいこと
    - ④ 1学年1学級を維持できず、複式学級となる場合の教育上の課題は大きいこと
    - ⑤ 免許外教科担任が発生しやすくなること
- (地理的条件等による課題)
- ① 同一市町村内に学校が1つしかないこと
  - ② 離島、山間部、豪雪地帯であること



## 市町村が特に取り組むべきこと

- 子どもの減少の見込みも示しつつ、保護者、地域住民への問題提起
- 通学の条件整備、廃校利用等、具体的な計画の保護者、地域住民への説明
- 小規模校で機会が不足しがちな、社会性の涵養等の機会充実のため、学校同士の交流活動や学校と地域との交流
- 複式学級での指導の充実のための工夫

## 国、都道府県の関わり

- 国、都道府県は、市町村が進める適正配置に対し、指導・助言及び支援
- 市町村合併に伴う教員加配、スクールバス購入等の補助、施設整備費の補助、学校運営費の激変緩和措置などの充実